

(別記第1号様式)

未来を創る子ども応援事業 助成申請書

色つきのセルに入力又はリストから選択してください。

令和〇年（2020年）〇月〇日

公益財団法人北海道市町村振興協会 理事長 様

申請者 管内 〇〇 住所 北海郡振興町字協会町123番地
市町村長職氏名 振興町長 夏野 大 印

北海道
振興町
長之印

次のとおり助成金の交付を受けたいので関係書類

申請者は市町村のみ
(広域事業は代表市町村)
※市町村長印(公印)を必ず押印

①事業の名称・実施形態等

事業名	振興町子ども脱炭素研修事業					
実施期間	開始	令和 〇 年 4 月 1 日	終了	令和 △ 年 1 月 30 日	最終期限は2月末日まで	
事業区分等	区分	小規模	新規／継続	新規	実施形態	市町村が実施
	事業の種類	研修等事業	政策課題	(3) 地球温暖化等地球環境問題		

②実行委員会等の概要 (上記①の「実施形態」で「実行委員会等が実施」を選択した場合に記載してください。)

実行委員会 等の概要	名 称								
	構成団体等								
	設立年月日	令和 年 月 日	市町村の 関与方法	(財政的関与の方法)					
				(人的関与の方法)					
	規約等の有無		規約		名簿等		実行委員会等名義の口座		
	※財政的関与・人的関与・実行委員会等の規約・名簿・独自の口座が「無」の場合は助成対象になりません。								

③事業の目的・内容・効果

地域における脱炭素化の取組を推進するため……〇〇〇〇〇。	
事業の目的	
事業の内容	<p>（「学び」、「体験」、「成果発表又は振り返り」ごとに、「誰」が、「いつ」、「どこで（場所、会場）」、「何（内容）」を実施するのか具体的に記載してください。）</p> <p>1 脱炭素子どもセミナー 町内の小中学生を対象にしたセミナーを開催し、脱炭素施策に関する理解を深める。</p> <p>（1） 日時 令和〇年7月〇日 （2） 場所 振興町農村環境改善センター（振興町字協会町463番地） （3） 対象 振興町立振興小学校4～5年生（45人） 振興町立振興中学校1～2年生（53人）</p> <p>2 脱炭素子どもツアー 町内の小中学生を対象にした脱炭素先進地の見学旅行を実施する。</p> <p>（1） 日時 令和〇年8月〇日～8月△日 （2） 見学先 北海市バイオマスセンター（北海市自治町2丁目） （3） 対象 セミナーと同じ</p> <p>3 こども議会 こども議会を開催し、事業の成果発表を行う。</p> <p>（1） 日時 令和〇年9月〇日～9月△日 （2） 場所 町議会議事堂（北海市自治町2丁目） （3） 対象 事業参加者、町長、町議会議員、町民</p>
事業の効果	<div><div>（事業の効果）※広域小学生及び中学生が対象となる。</div><div>（次年度以降の事業）令和〇年以降も継続</div></div> <div>記載例 （市町村直営事業の場合）</div>
宝くじ広報の方法	参加者募集チラシ及び参加者に配布するレジュメ等にサマージャンボ宝くじの広報表示を記載する。 また、事業実施報告を掲載する町ホームページについても広報表示を掲載する。

④予算の状況等

予算状況	事業費の総額(単位:円)	助成対象経費(単位:円) 収支予算書(付表)のうち 【A】【B】【C】の最も低い額	市町村の歳出予算措置状況		
	2,000,000		済		
	市町村が負担する金額(単位:円)	1,750,000	未(月議会予定)		
	1,750,000	助成申請額(単位:円)	過去3年間の本助成金交付状況		
	その他の財源(単位:円)	1,160,000	年度	年度	年度
	250,000		千円	千円	千円

⑤事業の担当者等

担 当	部署の名称	産業振興課地域脱炭素係				
	職氏名	職名	係長		氏名	炭野 脱夫
	電話番号	011-232-0281		E-mail	z-2@do-shinko.or.jp	

(付表1)

色つきのセルに入力してください。

未来を創る子ども応援事業 収支予算書

事業名	振興町子ども脱炭素研修事業
-----	---------------

【市町村】

※実行委員会方式で事業を実施する場合は「付表1の2」も記載してください。

(収入)

市町村の直営事業又は実行委員会等に補助金を支出して実施する事業の場合、当該実行委員会等に支出する補助金等について記載します。

(単位:円)

予算科目等	予算額	摘 要
一般財源 基礎額【A】	1,750,000	※未来を創る子ども応援事業助成金は内数(特定目的基金を充当する場合は名称を記載)
国・道 補助金・交付金		(補助金・交付金等の名称を記載)
地方債(過疎債等)		(地方債の名称を記載)
その他特定財源	250,000	参加者負担金
合 計	2,000,000	

記載例
(市町村直営事業の場合)

(支出)

(単位:円)

予算科目等	予算額(合計)	助成対象経費	助成対象外経費
委託料	650,000	セミナー等講師派遣委託料650,000 合計額 650,000	合計額
食糧費	265,000	セミナー飲料水15,000 子どもツアー昼食120,000 子どもツアー夕食130,000 合計額 265,000	合計額
使用料	800,000	子どもツアーバス借上料300,000 宿泊研修施設使用料500,000 合計額 800,000	合計額
備品購入費	125,000	スピーカーマイク15,000 合計額 15,000	記録用デジタルカメラ110,000 合計額 110,000
消耗品費	35,000	ワークショップ用模造紙、水性ペン、テープ等15,000 A4上質紙10,000 消毒用アルコール、ウェットティッシュ等10,000 合計額 35,000	合計額
役務費	50,000	イベント傷害保険50,000 合計額 50,000	合計額
報償費	75,000	セミナー講師謝礼50,000 ツアー受け入れ謝礼25,000 合計額 75,000	合計額
	0	合計額	合計額
市町村の予算科目に従って分類してください			
	0	合計額	合計額
	0	合計額	合計額
合 計	2,000,000	助成対象経費 合計額 基礎額【B】 1,890,000	助成対象外経 費 合計額 110,000

助成対象経費・助成対象外経費を区分して記載してください。

算定基礎額

基礎額【A】

1,750,000

基礎額【B】

1,890,000

基礎額【C】

0

【C】は実行委員会等の助成対象経費

助成申請額

算定式

【A】【B】【C】のうち最も低い金額 × 2/3 上限:(広域事業)500万円 (小規模)300万円 下限:いずれも30万円

助成申請額(万円未満切捨て)

1,160,000

円